

平成 24 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	関西学院ヒューマンサービスセンター
活動テーマ	住民主体のサークルをきっかけとした仲間づくり



水害発生から時間が経過し、他のボランティアさんの姿や励ましの声などが少なくなってきたため、頑張っ
て復興しようとするまちの活気も薄れてきました。私たちはこの状況を打破すべく毎月一回の訪問を欠かさず行
い、その都度コミュニティカフェを開催してきました。住民の方が気負うことなく、そしてより主体的になれる
ような活動を考えていきたいと思います。これまで学生が良かれと思うことをし、それを住民の方に提供して
いました。しかし、それは学生からの一方的な働きかけにすぎず住民の方を主体とした活動であったとはいえま
せん。そのような反省点を踏まえて、住民の方の意思を第一とした活動を行っていききたいと思います。

目的達成のためにまずは、住民の方にアンケート調査を行いました。それを基にして、今何を求めているのか、
または何をしたいのかを把握していきました。その結果、共通の趣味や特技を持っておられる方がいることが分
かり、サークル作りを提案していこうと思いました。そこで有意義な活動にしていくため、「友達をたくさん作
ろう！」というキャッチフレーズを掲げ、最も意見の多かった押し花、竹細工、料理に焦点を当ててプログラ
ムを考えました。しかし、メンバーを募った結果人数が集まらずサークルを結成することができないという問題に
直面しました。そこで今まで行ってきたコミュニティカフェの活動の質を高め、ボランティアと住民、さらには
住民同士の絆を深めていこうと思いました。そのうえで押し花作りなどの企画を行うことで、完全に受け身な姿
勢ではなく、自発的に参加していただく姿勢でカフェに臨んでもらおうと考えました。

4 月は久崎地域で開催される桜祭りに参加し、子ども遊びのブースを担当することで子どもをはじめとする住
民との交流を深めました。5 月から 10 月までは、住民同士の絆を深めるためにコミュニティカフェでさまざまな
企画を実施しました。(ピザ作り、うちわ作り、スイカ割り大会、しおり作り、料理発表会等)

11月は地域のコミュニティをより深めるために、子ども向けの運動会を企画、実施しました。久崎小学校のグラウンドを貸していただき、数名の住民が協力してくださり、小学生から大人の方まで30人程が参加してくれました。この運動会の開催は地域交流の一步として、私たちの活動が大きく前進したきっかけになったと思います。

12月は4月の桜祭りと同様、久崎地域の毎年恒例のイベントである久崎市に、休憩所を兼ねたコミュニティカフェとして参加させていただきました。このように地域に親しまれているイベントに参加させていただけるということは、私たちボランティアと住民の間に信頼関係が形成されてきているという証だと感じています。

このような活動を続けてきた結果、少しずつですがコミュニティカフェを中心とした私たちの活動に好意的に協力してくださる住民の方が増えてきました。3月のカフェは、今までずっと活動してきた私たち学生ボランティアの最上級生2人が卒業を控え最後の活動だったため、住民の方々が色紙やケーキを用意してくださり、カフェで小さな卒業式を開いてくださりました。

この1年、「私たちボランティアと住民の絆」や「住民同士のつながり」を意識した活動を続けたことで、住民の地域に対する思いが変わってきたと感じます。1年前はコミュニティカフェのお客さんとして完全に受け身な姿勢でしたが、ただお話をするだけではなく、ピザ作りなど自らが参加して楽しむ企画を取り入れることで、少しずつ自発的にカフェに参加してくださる方が増えたと思います。また、私たちが地域のイベントでお手伝いとして関わることで、住民からの認知度も高まり、1年前よりも深い絆ができた実感しています。その結果、年度末である後半の活動ではコミュニティカフェに主体的に協力してくださる方が増え、明らかな変化を目標にすることができました。当初の目標であったサークルを立ちあげることが、高齢者の方も多く上手くいきませんが、コミュニティカフェでさまざまな企画をすることを通じて、住民がカフェの運営に主体的に関わってくださるようになりました。このことは過疎化、高齢化が進む久崎にとって大きな成長であり、今後まち全体に活気がもどっていくための第一歩だと思っています。